

# デジタル4Kビデオ カメラレコーダー

## 取扱説明書



ヘルプガイド(Web取扱説明書)  
Web上のマニュアル「ヘルプガイド」も  
ご覧ください。パソコンやスマート  
フォンでご覧いただけます。

<http://rd1.sony.net/help/cam/1710/ja/>

準備する

撮る/見る

残す

使いこなす

その他



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HANDYCAM®

# 警告 安全のために

→ 80～83ページも  
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



## 「安全のために」の注意事項を守る

### 定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・  
においがしたら  
煙が出たら

- ➔
- ① 電源を切る
  - ② 電池を外す
  - ③ 相談窓口につながる

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

### 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

### 警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

#### 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

#### 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

#### 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

### 電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

## ヘルプガイドを 活用しましょう！



ヘルプガイドは、パソコンやスマートフォンでご覧いただける、Web上のマニュアルです。メニューの詳細や応用的な使いかた、最新情報などを説明しています。



ここから  
アクセス

<http://rd1.sony.net/help/cam/1710/ja/>

FDR-AX700 ヘルプガイド 🔍

ヘルプガイドでは以下の機能などを詳しく説明しています。

- フォーカスエリア
- ロックオンAF
- AF駆動速度
- AF被写体追従設定
- S&Q MOTION
- SUPER SLOW MOTION
- スマートフォン操作
- ピクチャープロフィール(HDR対応)
- XAVC S プロキシ記録

# 目次

安全のために.....	2
ヘルプガイドを 活用しましょう！ .....	3
動画の記録方式/画質を選ぶ .....	4

## 準備する

付属品を確かめる .....	7
バッテリーを充電する .....	8
電源を入れる .....	11
ファインダーを調節する .....	12
メモリーカードを入れる .....	13
久しぶりに使うときは .....	17

## 撮る/見る

撮る.....	18
マニュアルで撮る.....	22
見る.....	30
テレビで見る.....	35

## 残す

パソコンに映像を取り込む .....	38
動画のディスクを作成する .....	39
外部機器に映像を保存する .....	41
Wi-Fi機能を使う .....	44

## 使いこなす

メニューを設定する.....	48
メニュー一覧.....	49

## その他

故障かな？と思ったら .....	56
使用上のご注意.....	65
主な仕様.....	68
保証書とアフターサービス.....	72
各部のなまえ.....	73
安全のために.....	80
索引.....	84

# 動画の記録方式/画質を選ぶ

## 1 MENUボタン → (録画/出力設定) → [録画設定] → [記録方式] で希望の設定を選ぶ。

記録方式	特徴	
XAVC S 4K	4K解像度(3840×2160)で記録できます。	ソフトウェアPlayMemories Home™でパソコンに保存または対応メディアを作成できます。
XAVC S HD	AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。 このフォーマットで記録できるメモリーカードについては、14ページをご覧ください。	ソフトウェアPlayMemories Homeでパソコンに保存または対応メディアを作成できます。
AVCHD	パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。	ソフトウェアPlayMemories Homeでパソコンに保存または対応メディアを作成できます。

## 2 MENUボタン → (録画/出力設定) → [録画設定] → [録画フォーマット] で希望の設定を選ぶ。

- ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。
- MENUボタン →  (その他) → [60i/50i切換] の設定によって選べる設定値が変わります。
- 以下については「ヘルプガイド」をご覧ください。
  - S&Q MOTION録画の録画フォーマット
  - SUPER SLOW MOTION録画の録画フォーマット
  - 各録画フォーマット時の最大記録時間の目安

## [録画フォーマット]が[XAVC S 4K]のとき

60i/50i切換	録画フォーマット	ビットレート	記録される映像
60i	2160/30p 100Mbps	約100 Mbps	3840×2160 (30p)
	2160/30p 60Mbps	約60 Mbps	3840×2160 (30p)
	2160/24p 100Mbps	約100 Mbps	3840×2160 (24p)
	2160/24p 60Mbps	約60 Mbps	3840×2160 (24p)
50i	2160/25p 100Mbps	約100 Mbps	3840×2160 (25p)
	2160/25p 60Mbps	約60 Mbps	3840×2160 (25p)

## [録画フォーマット]が[XAVC S HD]のとき

60i/50i切換	録画フォーマット	ビットレート	記録される映像
60i	1080/120p 100Mbps	約100Mbps	1920×1080 (120p)
	1080/120p 60Mbps	約60Mbps	1920×1080 (120p)
	1080/60p 50Mbps	約50Mbps	1920×1080 (60p)
	1080/60p 25Mbps	約25Mbps	1920×1080 (60p)
	1080/30p 50Mbps	約50Mbps	1920×1080 (30p)
	1080/30p 16Mbps	約16Mbps	1920×1080 (30p)
	1080/24p 50Mbps	約50Mbps	1920×1080 (24p)
50i	1080/100p 100Mbps	約100Mbps	1920×1080 (100p)
	1080/100p 60Mbps	約60Mbps	1920×1080 (100p)
	1080/50p 50Mbps	約50Mbps	1920×1080 (50p)
	1080/50p 25Mbps	約25Mbps	1920×1080 (50p)
	1080/25p 50Mbps	約50Mbps	1920×1080 (25p)
	1080/25p 16Mbps	約16Mbps	1920×1080 (25p)

## [録画フォーマット]が[AVCHD]のとき

60i/50i切換	録画フォーマット*	ビットレート	記録される映像
60i	1080/60i FX	最大24 Mbps	1920×1080 (60i)
	1080/60i FH	平均約17 Mbps	1920×1080 (60i)
	1080/60i LP	平均約5 Mbps	1920×1080 (60i)
50i	1080/50i FX	最大24 Mbps	1920×1080 (50i)
	1080/50i FH	平均約17 Mbps	1920×1080 (50i)
	1080/50i LP	平均約5 Mbps	1920×1080 (50i)

\* [録画フォーマット]を[1080/60i FX]、[1080/50i FX]にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。

### ご注意

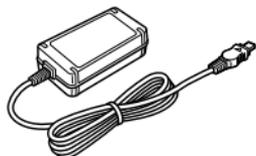
- 本機で撮影した動画をテレビで見るには、あらかじめ[60i/50i切換]をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。それぞれの設定で見られる国と地域については「ヘルプガイド」をご覧ください。

# 付属品を確かめる

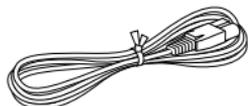
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

( )内は個数。

- 本機 (1)
- ACアダプター (1)



- 電源コード (1)



- ワイヤレスリモコン (1)

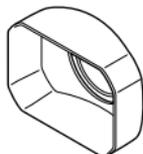


ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

- 大型アイカップ (1)



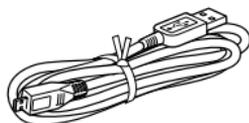
- レンズフード (1)



- レンズキャップ (本体に装着) (1)



- USBケーブル (1)



- 取扱説明書 (本書) (1)

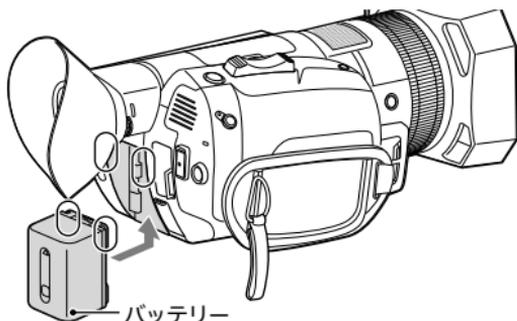
- 保証書 (1)

- リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70A (1)

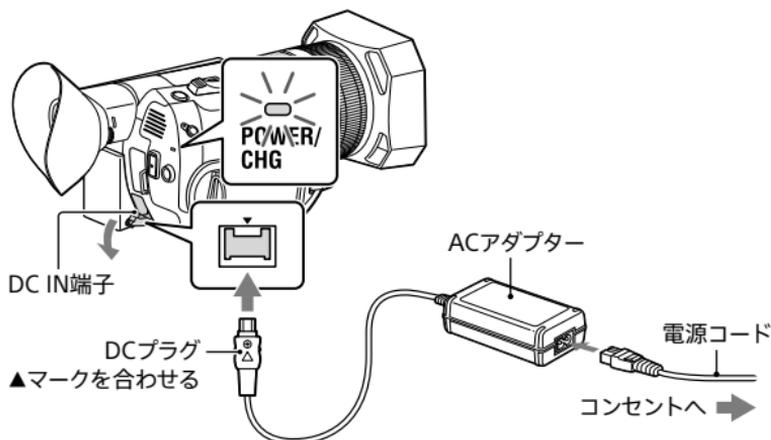


# バッテリーを充電する

- 1 液晶モニターを閉じ、ファインダーを収納して、バッテリーを取り付ける。



- 2 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。



- POWER(電源) /CHG(充電) ランプがオレンジ色に点灯します。
- POWER(電源) /CHG(充電) ランプが消灯したら充電完了です(満充電)。ACアダプターを本機のDC IN端子から取り外してください。

## 充電時間の目安(分)

バッテリー型名(付属)	ACアダプター(付属)
NP-FV70A	170分

- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25℃の環境下で満充電をしたときの時間です。

## 付属バッテリーの撮影/再生可能時間の目安(分)

バッテリー型名	撮影時間		再生時間
	連続撮影時	実撮影時	
NP-FV70A	190分	95分	275分

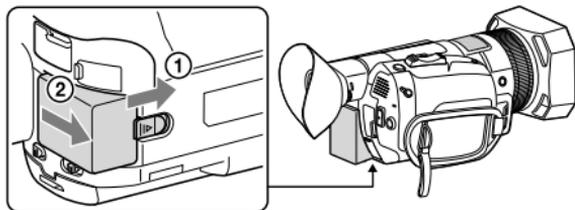
- 25℃で、満充電から使用したときのおよその時間です。
- お買い上げの設定([記録方式]が[XAVC S 4K]、[録画フォーマット]が[2160/30p 60Mbps] (60i)または[2160/25p 60Mbps] (50i)、[PROXY設定]が[切])での撮影時間です。
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、撮影モードの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 液晶モニターを使用した撮影時間です。

## コンセントに接続して本機を使う

「バッテリーを充電する」の方法で、本機とコンセントを接続します。ACアダプターを使用すると、コンセントから電源を取れます。ACアダプター使用時にバッテリーを取り付けていても充電されませんが、残量は減りません。

## バッテリーを取り外す

電源を切った状態で、BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら①、バッテリーを取り外す②。



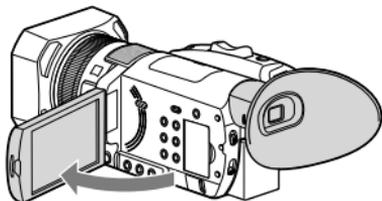
## 海外で充電する

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使用しないでください。

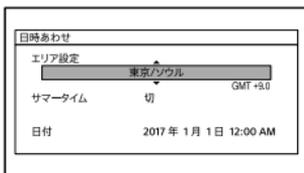
# 電源を入れる

## 1 液晶モニターを開いて電源を入れる。



- ファインダーを引き出したり、 $\odot$ (電源) ボタンを押すことでも、電源を入れることができます。ファインダーを引き出すには、ファインダーの両側を持ち水平に引き出してください。
- 初めて電源を入れると自動的に「日時あわせ」画面になります。

## 2 本機の画面に従って、 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ /SETボタンでエリア、サマータイム、日時を設定する。



- $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ /SETボタンの使い方は48ページをご覧ください。

## 電源を切る

ファインダーを引き出している場合は、押し戻してください。 $\odot$ (電源) ボタンを押すか液晶モニターを閉じてください。

## 操作音を切る

MENUボタン $\rightarrow$  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ /SETボタンで $\text{目}$ (その他)  $\rightarrow$  [操作音]  $\rightarrow$  [切] を選ぶ。

# ファインダーを調節する

ファインダーで見るときは、ファインダーを引き出してファインダーに目を近づけてください。

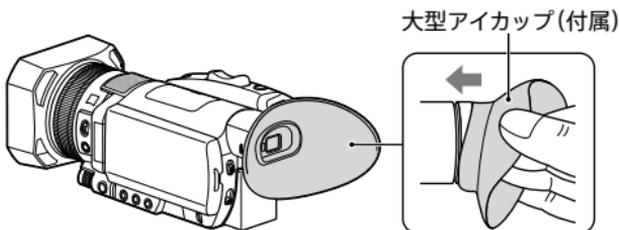
ファインダーを引き出し、液晶モニターを開いた状態でファインダーに目を近づけると、液晶モニター表示からファインダー表示に切り換わります。

ファインダーの画面表示がぼやけているときは、ファインダー横の視度調節ダイヤルで調節してください。



## ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体のアイカップの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右どちらの向きでも取り付けられます。

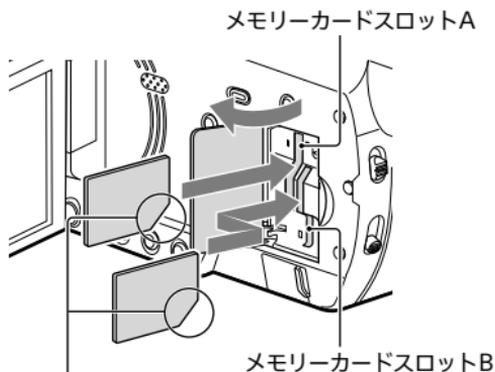


## ご注意

- 別売のバッテリーNP-FV100Aを装着したままファインダーを収納すると、大型アイカップとバッテリーがやや干渉しますが、機能に問題はありません。

# メモリーカードを入れる

## 1 カバーを開き、メモリーカードを「カチッ」というまで押し込む。



切り欠き部を図の向きに入れる

- [管理ファイル準備中 しばらくおまちください]というメッセージが表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。
- メモリーカードスロットAは、メモリースティック、SDカードの両方に対応しています。メモリーカードスロットBはSDカードのみ対応しています。

## 本機で使えるメモリーカード

以下の一覧を参考にし、使用するメモリーカードを選んでください。

### SDカード

記録方式		対応メモリーカード
静止画		SD/SDHC/SDXCメモリーカード
AVCHD		SD/SDHC/SDXCメモリーカード (Class4以上またはU1以上)
XAVC S	4K 60Mbps* HD 60Mbps* HD 50Mbps以下*	SDHC/SDXCメモリーカード (Class10 以上またはU1以上)
	4K 100Mbps* HD 100Mbps	SDHC/SDXCメモリーカード (U3)
	S&Q MOTION	
	SUPER SLOW MOTION	SDHC/SDXCメモリーカード (Class10 以上またはU1以上)

\* プロキシ同時記録時を含む

### メモリースティック

記録方式	対応メモリーカード
静止画	メモリースティックPROデュオ™/メモ リースティック PRO-HGデュオ™
AVCHD	メモリースティックPROデュオ (Mark2) /メモリースティック PRO-HGデュオ
XAVC S	—

## ご注意

- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。  
本機で再生する場合は、連続で再生されます。  
PlayMemories Homeで結合することで、1つのファイルとして扱うことができます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- メモリースティック マイクロ、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。
- 管理ファイルを修復するには、バッテリーを十分に充電してから実行してください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生したりすることはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。  
対応していない機器に接続した場合はフォーマット（初期化）を促すメッセージが表示される場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。  
(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

## 記録するメモリーカードスロットを選択するには

SLOT SELECTボタンを押して記録するスロットを切り換えます。選択したスロットは画面上で確認できます。

メモリーカードが1枚だけ挿入されているとき、動画撮影モードの場合はメモリーカードが挿入されているスロットが自動的に選択されます。静止画撮影モードの場合はSLOT SELECTボタンを押してメモリーカードが挿入されているスロットに切り換えてください。

## ご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。
- メモリーカードへの動画の記録中に、SLOT SELECTボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

## メモリーカードを取り外す

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押す。

## メモリーカードをフォーマットする

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。
- フォーマットするには、MENUボタン→▲/▼/◀/▶/SETボタンで 目(その他)→[メディア初期化]→フォーマットしたいメモリーカードのロット→  を選びます。
- メモリーカードをフォーマット（初期化）すると、記録されているすべてのデータが消去されます。元に戻すことはできませんので、大切なデータはパソコンなどに保存してください。

# 久しぶりに使うときは

2～3か月ぶりに本機を使用する場合は、次の確認をしてからご使用ください。

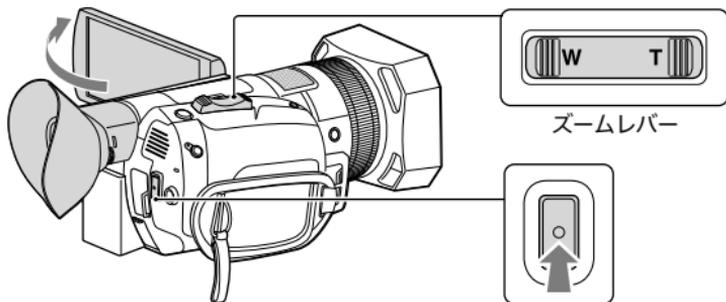
- 日付と時計が初期化されている場合は、MENUボタン→▲/▼/◀/▶/SETボタンで☰(その他)→[日時あわせ]で設定しなおしてください。
- 使用する前に、必ずバッテリーを充電してください。詳しくは、「バッテリーを充電する」(8ページ)をご覧ください。
- 過去に撮影した画像を見る場合は、記録方式の切り換えが必要になる場合があります。詳しくは、「見る」(30ページ)をご覧ください。

# 撮る

## 動画を撮る

本機は動画をメモリーカードに記録します。お買い上げ時は、動画はXAVC S 4Kで記録されます。下記の手順で動画を撮影します。動画の記録形式と画質については4ページをご覧ください。

### 1 液晶モニターを開き、START/STOPボタンを押して動画撮影を始める。



- 撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

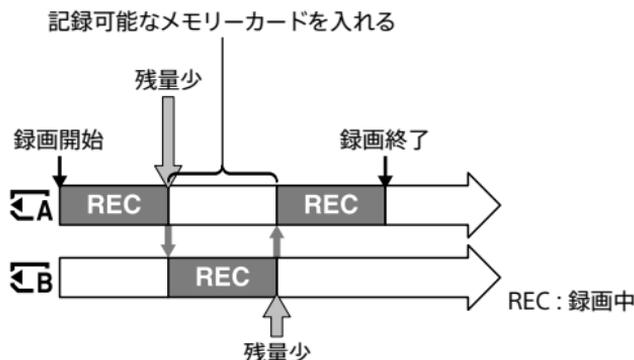
### ご注意

- 動画記録と映像の外部出力(HDMI出力)を同時に行っている場合、[NIGHTSHOTライト]は[切]に固定されます。また[XAVC S 4K] 100Mbps、[XAVC S 4K] 60Mbps動画記録と映像の外部出力(HDMI出力)を同時に行っている場合、[パネル明るさ]も[ノーマル]に固定されます。
- アクセランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- AVCHD記録の場合は、撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- メニューの設定や、ピクチャープロファイルの設定、AUTO/MANUALスイッチを使った設定は液晶モニターを閉じて電源を切ると保存されます。保存処理中はPOWER(電源) /CHG(充電)ランプが点滅します。

## メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する (リレー記録)

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカード A(またはメモリーカード B)の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります。撮影前に以下の設定をしてください。

MENUボタンを押す→▲/▼/◀/▶/SETボタンで、 (録画/出力設定)→[録画設定]→[同時/リレー記録]→[リレー記録]にする。



### ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、アクセスランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、 $[A \rightarrow B]$ または $[B \rightarrow A]$ が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「PlayMemories Home」を使用してください。
- 一度の動画撮影で可能な連続撮影時間は、最大で約13時間です。

## メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する(同時記録)

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

MENUボタンを押す→▲/▼/◀/▶/SETボタンで、⇄(録画/出力設定)→[録画設定]→[同時/リレー記録]→[同時記録]にする。

### ご注意

- メモリーカードAとメモリーカードBに違う種類のメモリーカードを使用している場合は、同時記録できません。

## およその撮影可能時間

記録方式	メモリーカード <sup>*1</sup>	
	64GB	256GB
XAVC S 4K <sup>*2</sup>	2時間5分	8時間35分
XAVC S HD <sup>*3</sup>	2時間30分	10時間25分
AVCHD <sup>*4</sup>	8時間15分	33時間15分

<sup>\*1</sup> 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。

<sup>\*2</sup> [録画フォーマット]が[2160/30p 60Mbps] (60i)または[2160/25p 60Mbps] (50i)、[PROXY設定]が[切]で撮影した場合のおよその撮影可能時間です。

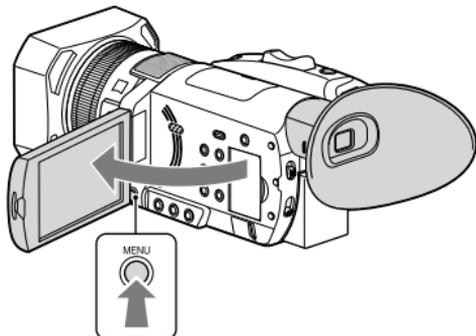
<sup>\*3</sup> [録画フォーマット]が[1080/60p 50Mbps] (60i)または[1080/50p 50Mbps] (50i)、[PROXY設定]が[切]で撮影した場合のおよその撮影可能時間です。

<sup>\*4</sup> [録画フォーマット]が[1080/60i FH] (60i)または[1080/50i FH] (50i)で撮影した場合のおよその撮影可能時間です。

- 実際の撮影可能時間/枚数は液晶モニター上でご確認ください。

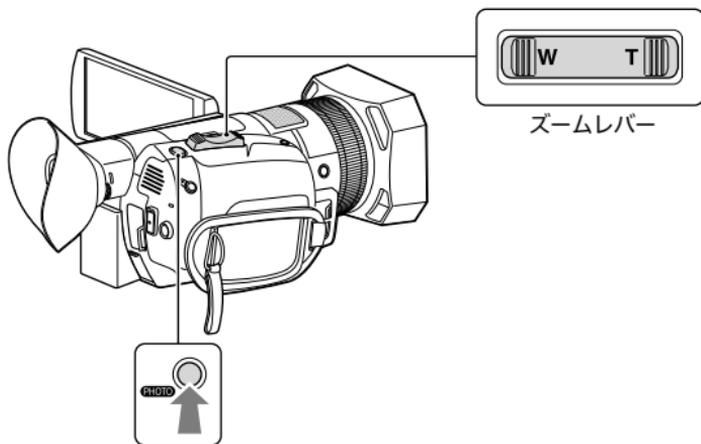
## 静止画を撮る

- 1 液晶モニターを開き、MENUボタンを押す→▲/▼/◀/▶/SETボタンで、 (録画/出力設定) →  撮影モード → [静止画] で静止画撮影モードにする。



- 本機は動画撮影モード時の静止画撮影には対応していません。

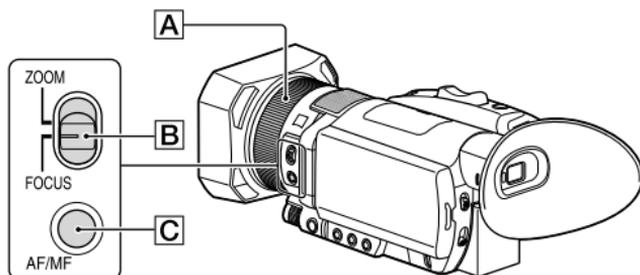
- 2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、PHOTOボタンをそのまま深く押す。



# マニュアルで撮る

## フォーカスを調節する

- 1 撮影またはスタンバイ中に、AF/MFボタン **C** を押して、フォーカスを手動にする。



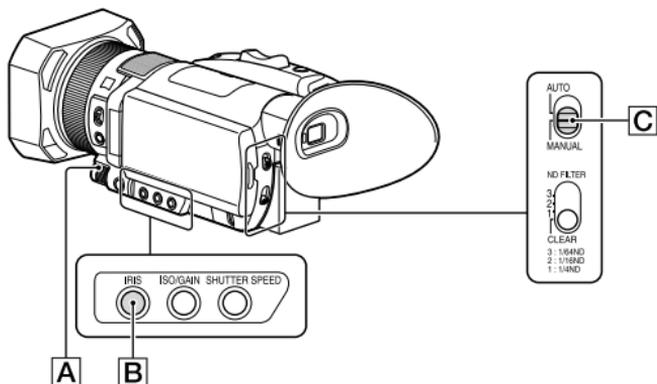
- が表示されます。

- 2 ZOOM/FOCUSスイッチ **B** を切り換え、マニュアルレンズリング **A** を回す。

- FOCUS側：マニュアルレンズリングを回すと、手でフォーカスを調整することができます。
  - ZOOM側：マニュアルレンズリングを回すと、ズームを調節することができます。
- は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき●に変わります。

## アイリスを調節する

### 1 AUTO/MANUALスイッチ[C]を「MANUAL」にする。



### 2 IRIS(アイリス)ボタン[B]を押す。

- アイリス値の横から[A]もしくは[B]が消え、アイリス値が反転します。

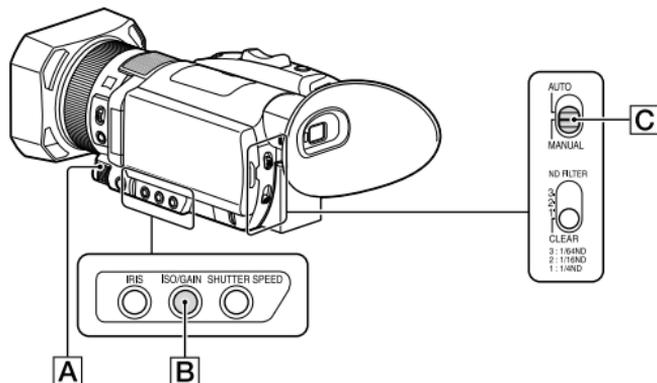
### 3 マニュアルダイヤル[A]を回して調整し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

- 絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。

## ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によって、値を上げたくないときに使います。

### 1 AUTO/MANUALスイッチ **C**を「MANUAL」にする。



### 2 ISO/GAIN(ゲイン)ボタン **B**を押す。

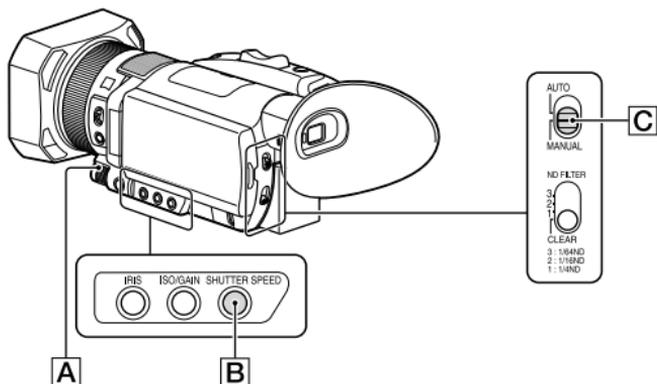
- ゲイン値の横から **A** もしくは **B** が消え、ゲイン値が反転します。

### 3 マニュアルダイヤル **A** を回して調整し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

## シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。

### 1 AUTO/MANUALスイッチ[C]を「MANUAL」にする。



### 2 SHUTTER SPEED (シャッタースピード) ボタン[B]を押す。

- シャッタースピードの値の横から[A]もしくは[B]が消え、シャッタースピード値が反転します

### 3 マニュアルダイヤル[A]を回して調整し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

- [60i] 選択時：1/8～1/10000 (ただし、24p撮影時は1/6～1/10000) から選べます。
- [50i] 選択時：1/6～1/10000から選べます。
- シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

## ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う

画面に表示されている撮影時の設定項目は、▲/▼/◀/▶/SETボタンの操作で直接設定変更ができます。事前にASSIGNボタンの任意の番号に[ダイレクト]を設定してください(28ページ)。

設定できる項目は以下のとおりです。

- AEシフトのレベル値
- フォーカス値
- アイリス値
- ISO感度/ゲイン
- シャッタースピード値
- ホワイトバランス値

### 1 ダイレクトメニューが割り当てられたASSIGNボタンを押す。

- ダイレクトメニューモードに入り、液晶モニター下部の項目にカーソル(下線)が表示されます。
  - － オレンジ色のカーソルは選ばれている項目
  - － 白いカーソルは選択できる項目

### 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを左右に動かしてオレンジ色のカーソルを設定対象の項目に移動する。

### 3 設定対象の項目に☑(自動)が設定されているときは、▲/▼/◀/▶/SETボタンを上下に動かして☑を消す。

### 4 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

- 設定値が白黒の反転表示になり、数値の変更ができる状態になります。

### 5 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを上下に動かして、希望の数値を表示させる。

- マニュアルダイヤルの操作でも数値を変更できます。

6 続けて他の項目を設定するには、▲/▼/◀/▶/SETボタンでオレンジカーソルを移動させて手順3～5を繰り返す。

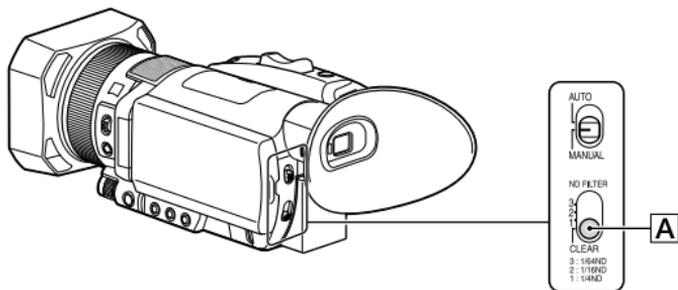
7 希望の数値をすべて表示させたら、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押す。

- 設定値が変更され、ダイレクトメニューモードを抜けます。

#### ご注意

- ダイレクトメニューの表示中に設定項目（アイリス値やフォーカス値など）がボタンやスイッチで変更された場合、ダイレクトメニューが終了することがあります。

### 光量を調節する (NDフィルター)



撮影状況が明るすぎるときは、ND FILTERスイッチ **A** を使うと被写体を鮮明に撮影できます。

NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に、NDフィルター3は約1/64に減少させるように設定されています。

アイリスを自動調節しているとき、ND1が点滅したときは、NDフィルター1に、ND2が点滅したときはNDフィルター2に、ND3が点滅したときはNDフィルター3にします。

適切な明るさになるとNDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。

NDOFFが点滅したときは、NDフィルタースイッチ **A** を「CLEAR」にしてください。NDフィルター表示が消えます。

## ASSIGNボタンに機能を割り当てる

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。  
ASSIGN1~6ボタンに1つずつ割り当てられます。

各機能については、「メニュー一覧」(49ページ)をご覧ください。

### お買い上げ時にASSIGNボタンに割り当てられている機能

- ASSIGN1: S&Q MOTION
- ASSIGN2: STATUS CHECK
- ASSIGN3: PICTURE PROFILE
- ASSIGN4: FOCUS MAGNIFIER
- ASSIGN5: IRIS PUSH AUTO
- ASSIGN6: — (機能なし)

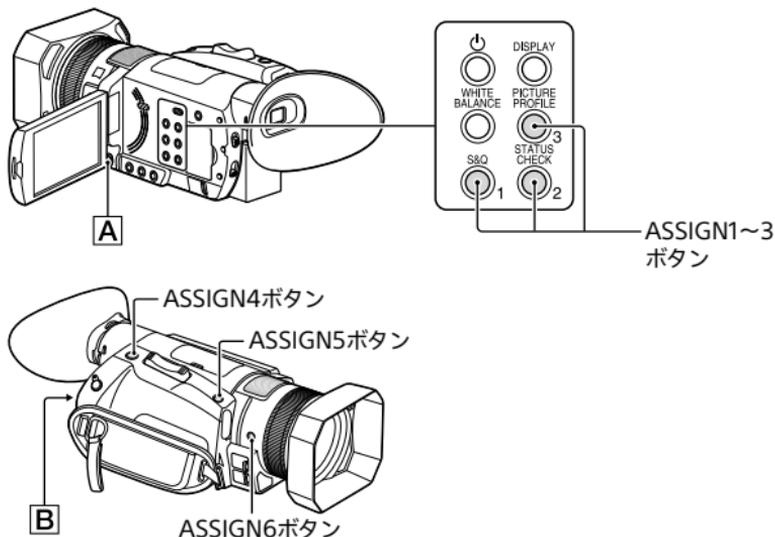
### 割り当てられる機能

- — (機能なし)
- LOW LUX
- FOCUS MAGNIFIER
- ラストシーンレビュー
- WHITE BALANCE
- WBプリセット
- WB SET
- AEシフト
- デジタルエクステンダー
- 手ブレ補正
- フォーカスエリア
- フォーカス位置
- AF駆動速度
- AF追従範囲[奥行]
- AF乗り移り感度
- 顔検出
- S&Q MOTION
- オートモード設定
- シーンセレクション設定
- NIGHTSHOT
- IRIS PUSH AUTO
- スポット測光フォーカス
- スポット測光
- スポットフォーカス
- カラーバー
- ダイレクト
- MENU
- PICTURE PROFILE
- 音量
- ヒストグラム
- ゼブラ
- ピーキング
- 位相差AF枠表示
- マーカー
- カメラデータ表示
- 音声レベル表示
- 日付/データ表示
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB 表示
- スマートフォン接続
- STATUS CHECK
- 録画ランプ
- THUMBNAIL
-  /  撮影モード

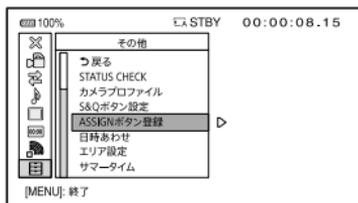
### ご注意

- 静止画撮影モードの場合、ASSIGN4ボタンは静止画のシャッター専用ボタンになります。

## 1 MENUボタン[A]を押す。



## 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタン[B]で、 (その他) → [ASSIGNボタン登録] を選ぶ。



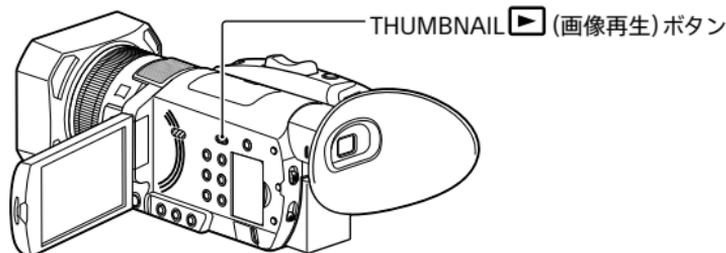
## 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタン[B]で設定したいASSIGNボタンを選び、押して決定する。

## 4 ▲/▼/◀/▶/SETボタン[B]で割り当てる機能を選び、押して決定する。

## 5 ▲/▼/◀/▶/SETボタン[B]で [決定] を選び、押すと機能が割り当てられる。

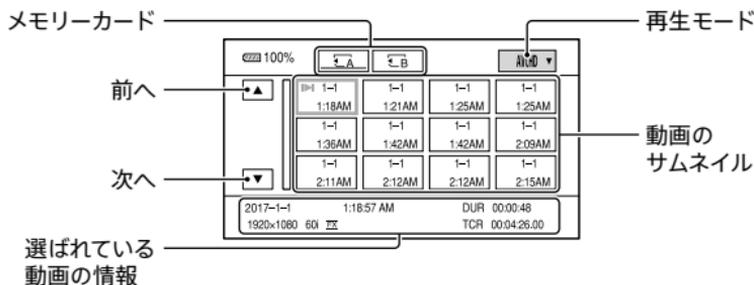
# 見る

## 1 液晶モニターを開き、THUMBNAIL (サムネイル) (画像再生) ボタンを押して再生モードにする。



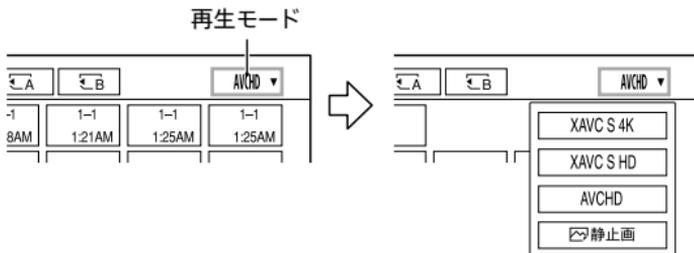
- サムネイル画面が表示されます。
- DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示にできます。

## 2 再生したいメモリーカードをタッチする。



- ////SETボタンで再生したいメモリーカード  (メモリーカードA) または  (メモリーカードB) を選択し、SETボタンを押すことでメディアに保存された画像が表示されます。

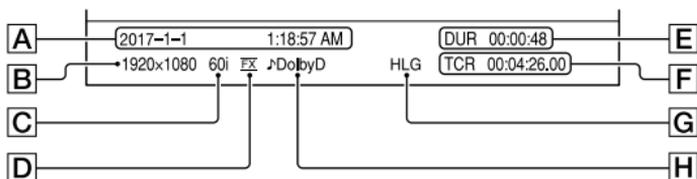
### 3 再生モードをタッチして、表示される再生モードから選ぶ。



### 4 再生したい動画または静止画のサムネイルを2度タッチすると再生される。

- ▲/▼/◀/▶/SETボタンで再生したい動画または静止画を選択して、SETボタンを押すことでも選択できます。
- サムネイルを1度タッチすると画面の下部分にタッチした動画または静止画の情報が表示されます。

#### 動画



- [A] 撮影開始日時
- [B] 動画の解像度
- [C] フレームレート
- [D] 録画モード
- [E] 動画記録時間
- [F] 記録開始タイムコード

タイムコードが記録されていないメモリーカードや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたメモリーカードを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

## G HLG (Hybrid Log-Gamma) 記録

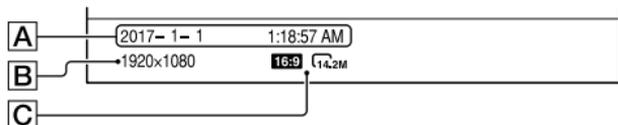
ガンマの設定がHLGで記録されている場合に表示されます。

## H DOLBY DIGITAL記録

音声ドルビーデジタル方式で記録されている場合に表示されます。

- 最後に再生・撮影した動画には▶▶が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。

## 静止画



A 撮影日時

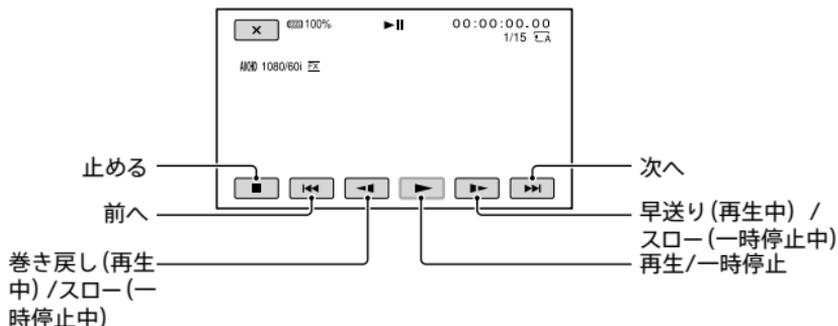
B 静止画の解像度

C 画像サイズ

## ご注意

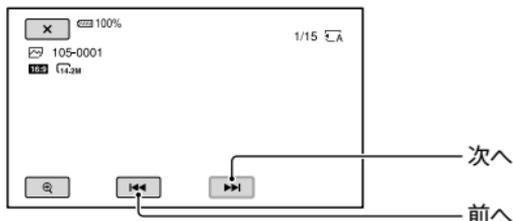
- 本機で記録した画像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した画像は本機で再生できない場合があります。

## 動画再生時の操作



- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、サムネイル画面に戻ります。
- 一時停止中に◀|▶をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、⏏/⏏をタッチする回数によって、より高倍速に再生されます。

## 静止画再生時の操作



- 静止画表示時にQ(再生ズーム)をタッチすると拡大して表示されます。
- ズーム調整はQ/Qでできます。ズームレバーでも操作できます。
- 拡大した画像をタッチすると、タッチした位置を中心に表示します。

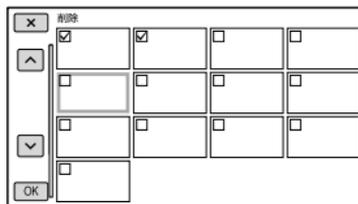
## 音量を調節するには

MENUボタン→▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して♪(音声設定)→[音量]で調節する。

## 撮影モードに戻すには

THUMBNAIL▶(画像再生)ボタンを押す。

## 画像を削除する



- ① サムネイル画面で削除する画像の再生モードを選ぶ。
- ② MENUボタンを押す。
- ③ ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して□(編集)→[削除]を選ぶ。
- ④ 削除したい画像をタッチする。  
画像に✓マークが表示されます。
  - －サムネイルを長押しすると、プレビューできます。[X]で選択画面に戻ります。
  - －1度に100個までの画像を選べます。
- ⑤ [OK] → [OK] → [OK] をタッチする。

## ご注意

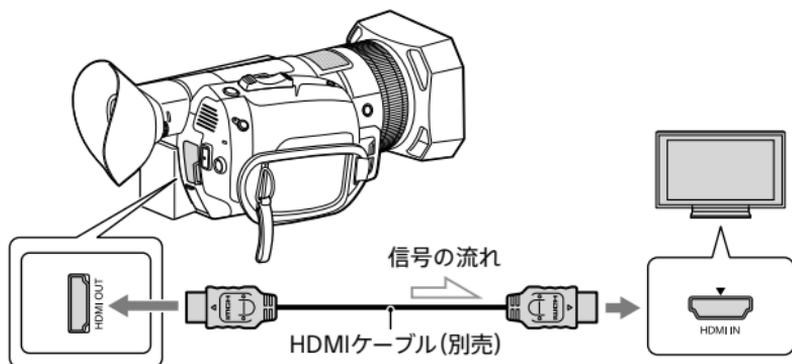
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。

# テレビで見る

## 画像を再生する

記録方式と本機のサムネイル画面で選んでいる画像再生の種類とHDMI出力設定によって再生される画像に制限が入ることがあります。

- 1 HDMIケーブル(別売)で、本機のHDMI OUT端子とテレビのHDMI入力端子をつなぐ。



- 2 テレビの入力をHDMI INに切り換える。

- 3 本機で画像を再生する。

## 再生画像の設定方法

記録方式	つなぐテレビ	[ビデオ出力]の[HDMI] *	再生画質
XAVC S 4K	4Kテレビ	オート 2160p/1080p/480i (576i) 2160p/720p/480i (576i) 2160p/1080i/480i (576i)	4K画質
		1080p/480i (576i) 720p/480i (576i) 1080i/480i (576i)	HD (ハイビジョン)画質
		480p (576p) 480i (576i)	標準画質
	ハイビジョンテレビ	オート 2160p/1080p/480i (576i) 2160p/720p/480i (576i) 2160p/1080i/480i (576i) 1080p/480i (576i) 720p/480i (576i) 1080i/480i (576i)	HD (ハイビジョン)画質
		480p (576p) 480i (576i)	標準画質
XAVC S HD AVCHD	4Kテレビまたはハイビジョンテレビ	オート 2160p/1080p/480i (576i) 2160p/720p/480i (576i) 2160p/1080i/480i (576i) 1080p/480i (576i) 720p/480i (576i) 1080i/480i (576i)	HD (ハイビジョン)画質
		480p (576p) 480i (576i)	標準画質

\* ( ) は [60i/50i切換] が50iの場合

- 静止画の再生画質はHD (ハイビジョン) 画質になります。
- 設定を変更したい場合は [HDMI] の設定を変更してください。  
MENUボタン→▲/▼/◀/▶/SETボタンで ⇄ (録画/出力設定) → [ビデオ出力] → [HDMI] を選ぶ。
- お使いのテレビにHDMI端子がないときは、AVケーブル (別売) で本機のマルチ/マイクロUSB端子とテレビの映像/音声入力端子をつないでください。

- 本機はブラビアリンクに対応していません。

# パソコンに映像を取り込む

## PlayMemories Homeでできること

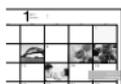
撮影した動画、静止画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。XAVC S動画、AVCHD動画をパソコンに取り込む場合はPlayMemories Homeが必要です。

- PlayMemories Homeは最新版にアップデートしてご使用ください。



本機から画像をパソコンに取り込み

Windowsは以下の機能も使えます。



カレンダー  
表示



動画ディスク  
を作成



ネットワーク  
サービスに  
アップロード

取り込んだ画像を  
再生する



PlayMemories  
Online™で画像  
をシェア



## PlayMemories Homeをダウンロードする

PlayMemories Homeは、以下のURLよりダウンロードできます。

<http://www.sony.net/pm/>

## パソコン環境を確認する

ソフトウェアのパソコン環境は、以下のURLよりご確認いただけます。

<http://www.sony.net/pcenv/>



# 動画のディスクを作成する

## 動画ディスクの種類を選ぶ

本機で記録した動画からディスクを作成することができます。ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。

### ご注意

- Mac版のPlayMemories Homeではディスクを作成できません。
- XAVC S動画からのディスク作成は、ブルーレイディスクとDVD (AVCHD記録ディスク)のみ対応しています。また、PlayMemories Home Ver.4.3.00以上へのアップデートが必要です。

残す

## 作成できるディスクの種類と動画記録方式

ディスクの種類/ 目的	記録方式			再生機器
	XAVC S 4K	XAVC S HD	AVCHD	
<b>Blu-ray</b> (ブルーレイディスク) ハイビジョン画質で残したい	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*1</sup>	○	ブルーレイディスク再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など)
<b>DVD</b> ハイビジョン画質 (AVCHD記録ディスク)で残したい	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*2</sup>	AVCHD規格対応再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など)
<b>DVD</b> 標準画質で記録して残したい	×	×	○	一般的なDVD再生機器 (DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど)

<sup>\*1</sup> [記録方式]をXAVC Sにして撮影した動画は、PlayMemories Homeでのディスク作成時、1920×1080/60iに変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。

そのままの画質で保存したいときは、パソコンまたは外付けメディアに保存してください。

\*2 [録画フォーマット]が[1080/60i **FX**]、[1080/50i **FX**]で撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。  
変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

## パソコンで動画ディスクを作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってディスクを作成できます(Windowsのみ)。お使いのパソコンが各ディスクの作成に対応している必要があります。

初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルで本機を接続してください。必要なソフトウェアが自動で追加されます(インターネット接続が必要です)。標準画質でDVDを作成する場合は、画面の指示に従って専用のアドオンソフトウェアをインストールしてください。

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細は、PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

## PlayMemories Homeで使えるディスクの種類について

PlayMemories Homeでは以下の12 cmのディスクを使えます。

ディスクの種類	特徴
BD-R* / DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできない。
BD-RE* / DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できる。

\* 追加記録はできません。

# 外部機器に映像を保存する

動画と静止画を保存する方法を説明します。相手機器の取扱説明書もご覧ください。

パソコンに動画を保存する場合は、PlayMemories Homeを使用してください(38ページ)。

## 動画の保存方法

接続する機器	使用ケーブル	保存できる画質/ 記録方式	保存できる メディア
USB端子があるレコーダー(ブルーレイディスクレコーダー)	USBケーブル(付属)	HD(ハイビジョン)画質 ● AVCHDなど*	ブルーレイディスク
USB端子がないレコーダー	AVケーブル(別売)	標準画質	DVD
パソコン	USBケーブル(付属)	4K・HD(ハイビジョン)画質 ● XAVC S ● AVCHD	パソコンおよび接続している外付けメディア

\* 最新の保存環境については、サポート情報をご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>

- AVケーブル(別売)とレコーダーをつないで、アナログで保存することもできます。画質は標準画質になります(43ページ)。
- ディスクの作成については、「動画のディスクを作成する」(39ページ)をご覧ください。

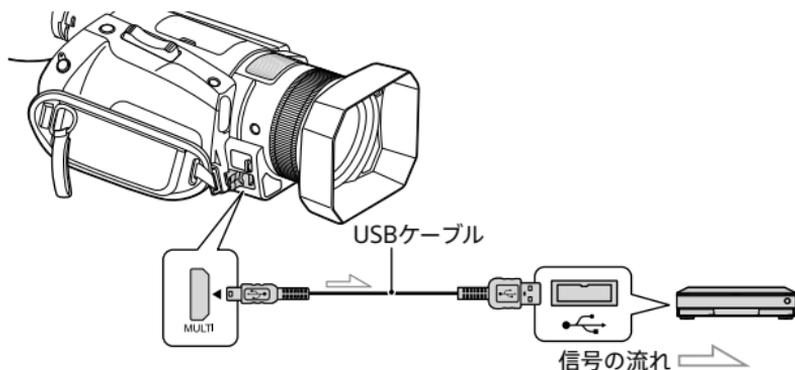
## ブルーレイディスクレコーダーに映像を保存する

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングしたり、ディスクを作成したりできます。

**1** バッテリーを本機に取り付ける。

**2** ACアダプター(付属)を接続する。

**3** 本機の電源を入れ、本機とブルーレイディスクレコーダーをUSBケーブルでつなぐ。



**4** 画像を取り込む。

具体的な取り込み方法に関してはブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

## 接続を終了するには

本機の画面で  [はい] を選びます。

### ご注意

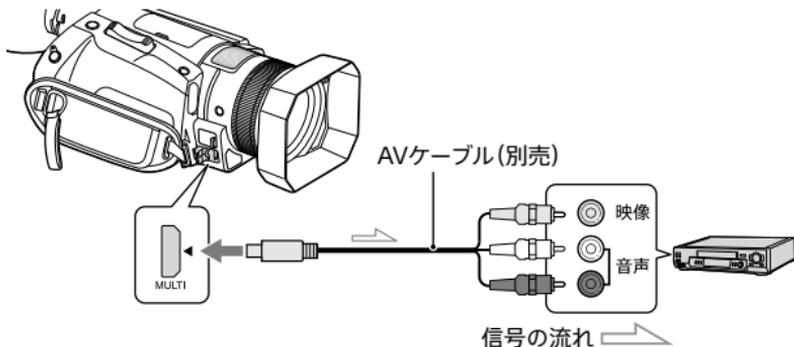
- ブルーレイディスクレコーダーに取り込む際は、サポート情報をご覧ください。  
<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>
- ディスクに保存する方法については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーによってボタンの有無、操作方法や使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 一部のブルーレイディスクレコーダーでは、対象のカメラを認識できません。これは本機にexFAT(ファイルシステム)が採用されていることによります。

残す

## その他の機種に映像を保存する

### USB端子が無いレコーダーとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子とレコーダーを、AVケーブル(別売)でつなぎます。



- 保存する方法については、レコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 標準画質で保存されます。

# Wi-Fi機能を使う

## スマートフォン用アプリをインストールする

PlayMemories Mobile™の最新情報、機能詳細はこちらをご覧ください。



<http://www.sony.net/pmm/>

## Android OSの場合

Google playから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチの場合は、Android 4.0以上が必要です。

## iOSの場合

App Storeから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチは、iOSでは使えません。

## ご注意

- すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- 本機のWi-Fi機能は公衆無線LANに接続して使用することはできません。
- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

## スマートフォンをリモコンとして使う

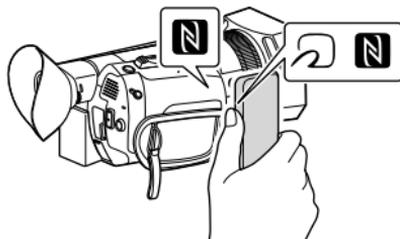
### NFC対応のAndroidでワンタッチ接続する場合

- 1 スマートフォンの[設定]を起動して[その他の設定]を選び、[NFC/おサイフケータイ設定]の[NFC R/W P2P]または[Reader/Writer,P2P]にチェックを入れる。



### 2 本機とスマートフォンをタッチする。

マーク同士を合わせるようにタッチ



### 3 スマートフォンを操作する。

#### ご注意

- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- 本機とスマートフォンの画面に **N** が表示されていることを確認してください。
- スマートフォンでPlayMemories Mobileが起動するまで(1~2秒)、本機とスマートフォンを動かさずにタッチし続けてください。
- 一部の  がついているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- NFCでうまく接続できない場合は「QRコードを使ってWi-Fi接続する場合」で接続してください。

残す

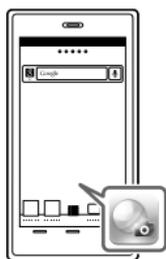
## QRコードを使ってWi-Fi接続する場合

1 MENUボタン→▲/▼/◀/▶/  
SETボタンで📶(ネットワーク設定)→[スマートフォン操作]を選ぶ。

- QRコード、SSID、パスワードが表示されます。



2 PlayMemories Mobileを起動する。



3 PlayMemories Mobile上の[カメラのQRコード読取り]を選ぶ。



4 [OK]を選ぶ(メッセージが表示されたら再度[OK]を選ぶ)。



5 本機のディスプレイに表示されているQRコードをスマートフォンで読み取る。

### Androidのとき

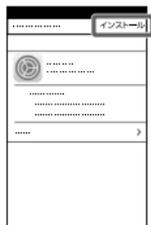
続けて以下の操作を行います。

- ①「検出されたカメラと接続しますか」と表示されたら[つなげる]を選ぶ。

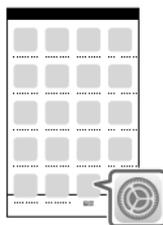
## iPhone/iPadのとき

続けて以下の操作を行います。

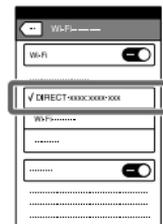
- ① 画面の指示に従ってプロフィール(設定情報)をインストールする。
  - インストール中にパスコード入力を求められたら、iPhoneに設定しているパスコードを入力してください。



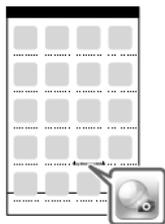
- ② ホームで[設定] → [Wi-Fi]を選ぶ。



- ③ SSIDを選ぶ。



- ④ ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する。



## 6 スマートフォンを操作する。

- QRコードを読み込むと、カメラのSSID (DIRECT-xxxx) とパスワードがスマートフォンに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にSSIDを選ぶだけでカメラとスマートフォンを接続できるようになります。
- NFCやQRコードを使ってもスマートフォンとカメラを接続できない場合は、SSIDとパスワードを使って接続してください。操作について詳しくは、「ヘルプガイド」をご覧ください。

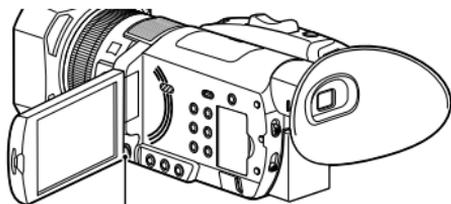
### ご注意

- 電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- 撮影した画像はスマートフォンには保存できません。

残す

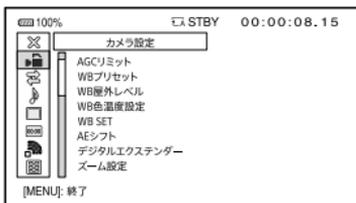
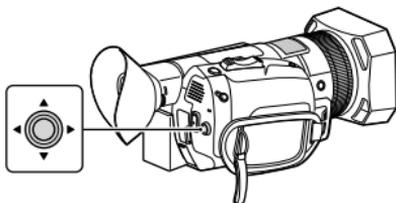
# メニューを設定する

## 1 MENUボタンを押す。



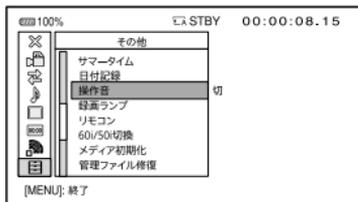
MENUボタン

## 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押してメニューアイコンを選び、 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。



- カメラ設定
- 録画/出力設定
- 音声設定
- 表示設定
- TC/UB 設定
- ネットワーク設定
- その他
- 編集

## 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して設定したい項目を選ぶ。



- MENUを終了するには、MENUボタンを押します、
- を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

# メニュー一覧

カメラ設定	
ISO/ゲイン切換 <sup>*1</sup>	ISO感度やゲインを手動で調整するときに、ISO感度/ゲインの表示を切り換えます。 (ISO/ゲイン)
オート ISOリミット	ISO自動調整時の上限値を設定します。 (切/、ISO200~4000 (1/3EV単位))
AGCリミット <sup>*1</sup>	AGC(オートゲインコントロール)の上限値を設定します。 (切/24dB ~ 0dB)
WBプリセット	プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。 (屋外/屋内/WB色温度)
WB屋外レベル	プリセットホワイトバランスが[屋外]のときのオフセット量を設定します。 (-7~+7)
WB色温度設定	プリセットホワイトバランスが[WB色温度]のときの色温度の値を設定します。 (2300K~15000K (100K単位))
WB SET	撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。
AEシフト	露出をお好みに合わせて調節します。 (入/切/レベル-2.0EV~+2.0EV)
デジタルエクステンダー <sup>*1</sup>	2倍に拡大して撮影します。XAVC S HD/AVCHの場合のみ選択可能です。 (切/入)
ズーム設定	ズームレバー操作時の動作について設定します。 (ズームタイプ/高速ズーム駆動)
手ブレ補正 <sup>*1</sup>	手ブレを補正して動画を撮影します。 (スタンダード/アクティブ/切)
手ブレ補正 <sup>*2</sup>	手ブレを補正して静止画を撮影します。 (入/切)
フォーカスエリア <sup>*1</sup>	ピント合わせの位置を選びます。 (ワイド/ゾーン/中央/フレキシブルスポット)
AF駆動速度 <sup>*1</sup>	動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせの速度を選べます。

AF被写体追従設定 <sup>*1</sup>	動画撮影時、オートフォーカスの追従範囲や乗り移り感度を設定できます。
ロックオンAF	撮影画面でピントを合わせたい被写体をタッチしたとき、被写体を追尾してピントを合わせ続ける機能を設定します。 (切/入)
顔検出	顔検出をするかしないかの設定をします。 (切/入)
SLOW & QUICK <sup>*1</sup>	再生するフレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。
オートモード設定 <sup>*1*3</sup>	撮影するシーンに合わせて最適な設定で撮影します。 (オート/インテリジェントオート/シーンセレクション)
シーンセレクション設定 <sup>*1</sup>	シーンを選んで撮影します。 (夜景/日の出&夕焼け/打ち上げ花火/風景/ ポートレート/スポットライト/ビーチ)
スポット測光フォーカス	タッチした被写体に明るさとピントが自動調整されます。
スポット測光	タッチした被写体に明るさが自動調整されます。
スポットフォーカス	タッチした被写体にピントが自動調整されます。
LOW LUX <sup>*1</sup>	薄暗いところで明るくカラーで撮影します。 (切/入)
自動逆光補正 <sup>*1</sup>	自動で逆光補正をします。 (切/入)
NIGHTSHOT <sup>*1</sup>	暗い場所での撮影時に、NIGHTSHOT機能を使用するかを設定します。[入]にすると画面が緑になります。 (入/切)
NIGHTSHOTライト <sup>*1</sup>	NIGHTSHOTライト発光部から赤外線ライトを点灯させます。[切]にしている場合、[NIGHTSHOT]メニューを[入]にしても赤外線ライトは点灯されません。
カラーバー <sup>*1</sup>	本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。 (入/切/トーン)
PICTURE PROFILE <sup>*1</sup>	[ガンマ]や[ディテール]などを調節して好みの画質設定を作れます。

録画/出力設定	
📷/📹 撮影モード	動画撮影モードと静止画撮影モードを切り替えます。
録画設定 <sup>*1</sup>	動画の記録方式、録画フォーマット、同時記録やリレー記録、PROXY設定の入/切とサイズの設定を行います。
画像サイズ <sup>*2</sup>	静止画の画像サイズを変更します。
ファイル番号 <sup>*2</sup>	静止画のファイル番号の付けかたを選びます。 (連番/リセット)
ビデオ出力	映像の出力先や出力方法を選びます。

音声設定	
音量	動画再生時の音量を調整します。
AVCHD 録音フォーマット <sup>*1</sup>	ハイビジョン画質(HD)時の記録音声フォーマットを切り換えます。 (LINEAR PCM/DOLBY DIGITAL)
録音レベル <sup>*1</sup>	録音感度を設定します。 (録音モード/マニュアルレベル)
INT MIC風音低減 <sup>*1</sup>	内蔵マイクで入力音声の低域音をカットして、風音低減をします。 (切/入)
マイク選択 <sup>*1</sup>	収録する音声に使用するマイクを選択します。 (オート/INT MIC/MI SHOE MIC/STEREO MINI MIC)
音声出力タイミング <sup>*1</sup>	撮影時に音声出力のタイミングを設定します。 (ライブ/リップシンク)

表示設定	
ヒストグラム	どの明るさの画素がどれだけ存在するか(ヒストグラム)の表示を設定します。 (切/入/入[ゼブラポイント])
ゼブラ	明るさ調節をするときの目安になるゼブラの表示を設定します。 (ゼブラセレクト/ゼブラ1レベル/ゼブラ1アパーチャーレベル/ゼブラ2レベル)
ピーキング	画面上で画像の輪郭を強調して表示するかを設定します。 (入/切/色/レベル)

位相差AF枠表示 <sup>*1</sup>	オートフォーカス(位相差AF)で動画撮影時にピントを合わせている箇所を表示するかしないかを設定します。 (入/切)
位相差AFエリア表示 <sup>*1</sup>	位相差AFの利用可能範囲を表示するかどうか設定します。 (入/切)
マーカー	画面上で撮影の目安になるマーカーの表示を設定します。 (入/切/センター/アスペクト/セーフティゾーン/ガイドフレーム)
フォーカス拡大倍率	フォーカス拡大の倍率を設定します。 (×4.0, ×8.0, ×4.0/×8.0)
カメラデータ表示	アイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピードの値について表示するかを設定します。 (切/入)
音声レベル表示 <sup>*1</sup>	オーディオレベルメーターを表示するかを設定します。 (入/切)
ズーム表示	ズームの表示方法を設定します。 (バー/数値)
フォーカス表示	フォーカス距離の表示を設定します。 (メートル/フィート)
シャッター表示 <sup>*1</sup>	シャッタースピードの表示を設定します。 (秒/角度)
日付/データ表示	再生時に表示する情報を選びます。再生時にのみ選択可能です。 (切/日付時刻データ/カメラデータ)
ガンマ表示アシスト <sup>*1</sup>	S-LOGまたはHLGを適用して撮影するときや再生するときに、ファインダーや液晶モニターに表示される画像を通常の動画に変換して表示するかを設定します。
パネル明るさ	液晶モニターの明るさを調節します。 (ノーマル/明るい)
ファインダー色温度	ファインダーの色温度を変更します。
画面表示出力	タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。 (パネル/全出力)

00:00 TC/UB 設定 <sup>*1</sup>	
TC/UB 表示	タイムコード、ユーザービットの表示を設定します。 (TC/U-BIT)
TC PRESET	タイムコードを設定します。
UB PRESET	ユーザービットを設定します。
TC FORMAT	タイムコードの記録方式を選びます。 (DF/NDF)
TC RUN	タイムコードの歩進方法を選びます。 (REC RUN/FREE RUN)
TC MAKE	タイムコードをメモリーカードに記録する方法を選びます。 (PRESET/ REGENERATE)
UB TIME REC	時刻をユーザービットコードとして記録する/しないを選びます。 (切/入)

 ネットワーク設定	
スマートフォン操作	スマートフォンをリモコンとして本機を操作します。
Wi-Fi設定	Wi-Fiの設定、変更などを行うときに使用します。 (機器名称変更/SSID・PWリセット)
飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、無線機器を使用する設定を一時的にすべて無効にします。 (切/入)
ネットワークリセット	[スマートフォン操作]を使用するために登録した接続情報をリセットします。

目 目 その他	
STATUS CHECK	カメラの設定がどのような設定値になっているかを確認します。
カメラプロフィール	カメラの設定内容をカメラプロフィールとしてメモリーカードに99個まで保存できます。
S&Qボタン設定 <sup>*1</sup>	S&Qボタンに割り当てる機能を設定します。

ASSIGNボタン登録	よく使う機能をASSIGNボタンに割り当てて操作できます。
日時あわせ	日時に関する設定をします。 (エリア設定/サマータイム/日付)
エリア設定	時計を止めることなく時差補正します。
サマータイム	サマータイムを設定します。 (切/入)
日付記録 <sup>*1</sup>	撮影した日付と時刻を画像に直接記録するかどうかを選びます。[記録方式]がAVCHDの場合のみ選択可能です。 (切/入)
操作音	撮影のスタート/ストップ時や操作時にメロディを鳴らすか、鳴らさないかを設定します。 (切/入)
録画ランプ	録画中に本体前面の録画ランプが点灯しないように設定します。 (入/切)
リモコン	付属のワイヤレスリモコンを使用するかを設定します。 (入/切)
60i/50i切換	テレビ方式によって、設定を選びます。
メディア初期化	メディア内の動画・静止画をすべて削除して、メディアの容量を元に戻せます。
管理ファイル修復	管理情報とメモリーカードの動画・静止画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。
USB接続	USBケーブルで本機と接続機器をつないでも、USB接続が開始されないときに使います。
USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高めます。 (マルチ/シングル)
通電時間	本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。
バージョン表示	本機のバージョンを表示します。
キャリブレーション	タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じるときに調整します。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。ピクチャープロファイルで設定した内容は解除されません。

[編集] <sup>*4</sup>	
プロテクト	画像を誤って削除してしまうことを防ぎます。
削除	不要な動画・静止画を削除します。
分割	AVCHDで記録された動画のみ、指定した場面で動画を分割します。

- \*1 動画撮影モードの場合のみ表示されます。
- \*2 静止画撮影モードの場合のみ表示されます。
- \*3 XAVC S 4K記録時は[オート]で固定されます。
- \*4 [編集]は、サムネイル画面や、再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。

# 故障かな？と思ったら

## 困ったときにすること

下記の流れに従って対応してください。

### 1 「故障かな？と思ったら」の項目をチェックして、本機を点検する。

「ヘルプガイド」(3ページ)もあわせてご覧ください。

### 2 電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。

### 3 [設定リセット] (54ページ)を行い、電源を入れる。

この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

### 4 ハンディカム™ オフィシャルWEBサイトなどで確認する。

<http://www.sony.jp/handycam/>

ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。

ハンディカムの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)

[http://www.sony.jp/support/r/handycam/repair\\_service/](http://www.sony.jp/support/r/handycam/repair_service/)



ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

### 5 相談窓口で電話で問い合わせる。

相談窓口について詳しくは、裏表紙をご覧ください。

## 全体操作

### 電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける。
- ACアダプターをコンセントに差し込む。

### 電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプター)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。

- MENUボタン→▲/▼/◀/▶/SETボタンで $\text{☉}$ (その他)→[設定リセット]を選ぶ。

## メニュー項目の設定が変わっている。

- AUTO/MANUALスイッチがAUTOの場合は、画質に関わる設定が自動で変わります。
- 動画撮影モードと、静止画撮影モードでは、表示されるメニュー項目が変わります。

## 本機が温くなる。

- ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。

## バッテリー・電源

### 電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する。

### バッテリーの充電中、POWER(電源)/CHG(充電)ランプが点灯しない。

- 電源を切る。
- バッテリーを正しく取り付け直す。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している。

### バッテリーの充電中、POWER(電源)/CHG(充電)ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります。
- バッテリーを正しく取り付け直す。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、相談窓口にお問い合わせください。

### バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不十分であるため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

### バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。

## モニター

**メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。**

- その項目は選択できない状態です。
- 機能によっては、同時に使えないものがあります。

**パネルに格子状の点が見える。**

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

**タッチパネルを開いているのに液晶モニターに表示されない。**

- アイセンサーが検出してファインダー表示になっている場合、液晶モニターには表示されません。

## ファインダー

**ファインダーの画像がはっきりしない。**

- 視度調整ダイヤルを動かす。

## リモコン

**付属のワイヤレスリモコンが操作できない。**

-  (その他) → [リモコン] を [入] にする。

- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- レンズフード(付属)を取り外す。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(79ページ)。

**リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。**

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

## メモリーカード

**メモリーカードを入れても操作を受け付けない。**

- パソコンでフォーマットしたメモリーカードを入れている場合は、本機でフォーマットする。
- 設定されている[記録方式]によって、使用できるメモリーカードが異なります。詳しくは、「メモリーカードを入れる」(13ページ)をご覧ください。

## メモリーカードの画像が削除できない。

- 編集画面では削除する画像を一度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトされた画像は削除できません。

## データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う。

## 再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機器がメモリーカードの再生に対応していません。

## 撮影

## START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。再生を終了する。
- PHOTOボタンで静止画撮影を行うには、「静止画撮影モード」に切り替える必要があります。
- 直前に撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- メモリーカードの空き容量がない。不要な画像を削除する。

- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている。不要な画像を削除する。

## 撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

## 画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

## 実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります。

## 録画が止まる。

- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

## 変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります。
- 拡大フォーカスの設定は保持されません。
- 電源が入ったままバッテリーやACアダプターを取り外した。電源を切り、アクセスランプが消灯し電源が切れたことを確かめてから、外してください。

## START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

## オートフォーカスができない。

- マニュアル時にAF/MFボタンを押し[オート]にして自動調整にする。
- オートフォーカスのピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせる。

## 位相差AFの枠表示が消える

- 被写体の状況、お客様の設定によってコントラストAFに切り替えて動作させることがあり、故障ではありません。

## 手ブレ補正ができない。

- [手ブレ補正]を[アクティブ]または[スタンダード]にする。
- [手ブレ補正]を[入]にする。
- [手ブレ補正]が[アクティブ]または[スタンダード]、[手ブレ補正]が[入]になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

## 画像が正しく記録・再生できない。

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、メモリーカード内の

ファイルが断片化(フラグメンテーション)して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。画像を保存したあと、[フォーマット]する。

## アイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

## 画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(25ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

## 映像がパラパラする。

- 晴天下の撮影など、明るいシーンでシャッタースピード(25ページ)が速くなるとときに出る現象です。適切なNDフィルター(27ページ)を使用して光量を調整してください。

## 画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

## 横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明や、LEDライトの照明下で撮影すると、画面に横帯が見える場合があります。このようなときは、シャッター速度を関東地方などの電源周波数が50Hzの地域では1/100、関西地方などの電源周波数が60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

## テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッター速度を調節する(25ページ)。

## 細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [カメラ設定] → [PICTURE PROFILE] → [ディテール] を「-」側に調節する。

## タイムコードがつかない。

- [録画/出力設定] → [録画設定] → [録画フォーマット] の設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

## 画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOTを解除する。

## 画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOTを解除する。

## [パネル明るさ]を調節できない。

- 次のとき、[パネル明るさ]は調節できません。
  - 液晶モニターを外側に向けて本体に収めているとき
  - ACアダプターを使用しているとき

## 音声为正しく記録されない。

- 動画記録中に外部マイクなどを接続または抜いた場合、音声为正しく記録されないことがあります。動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。
- [録音レベル]を調節して音量を最低に絞ると、音声は記録されません。

その他

## 再生

## 再生したい画像が見つからない。

## 画像を再生できない。

- サムネイル画面上で再生したい画像が記録されているメモリーカードと再生モードを選択する(31ページ)。
- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります(静止画)<sub>JP</sub>

再生時はファイル名が点滅)。故障ではありません。

- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- サムネイル画面を表示して、再生したいサムネイルを2度タッチするか、▲/▼/◀/▶ボタンで再生したいサムネイルを選択して、SETボタンを押す(31ページ)。

### 静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません。

### データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う。
- フォルダ構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

### 音声が小さい、または聞こえない。

- 再生音量を大きくする。
- [録音レベル]を調節して音量を最低に絞ると、音声は記録されません。

### [— — —]が表示される。

- [📷カメラ設定]→[カラーバー]を[入]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。

### 画面上にMulti chが表示される。

- Multi chは5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します

## 本機での編集

### 編集できない。

- 動画の状態により編集ができなくなっている。

### 分割できない。

- 次の動画は分割できません。
  - 極端に記録時間の短い動画
  - XAVC S 4K、XAVC S HDの動画
- プロテクトを解除してから分割する。

### 追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

## ダビング・外部機器

### ダビングできない。

- HDMIケーブルを使っでのダビングはできません。
- AVケーブル(別売)が正しくつながっていない。他機の入力端子へつながれているか確認する。

## つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- AVケーブル(別売)を使って接続するときは、[表示設定]→[画面表示出力]を[パネル]にする。

## 本機がパソコンに認識されない。

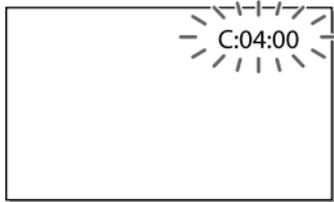
- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

## 動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むにはソフトウェア「PlayMemories Home」のインストールが必要です。

## 自己診断・警告表示の例

液晶モニターまたはファインダーに次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、相談窓口にお問い合わせください。CまたはEからはじまる数字すべてをお知らせください。



メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

## C:(またはE:)□□:□□(自己診断表示)

- C:04:□□
  - 指定以外のバッテリーが使われている。必ず指定のバッテリーを使う。
  - ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりとつなぐ。
- C:06:□□
  - バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。
- C:13:□□
  - メモリーカードを一度取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。
- C:32:□□
  - 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

その他

- E:□□:□□  
 - 「困ったときにすること」(56 ページ)の操作をお試ください。
  -  (バッテリー残量に関する警告)  
 - バッテリー残量が少ない。  
 - 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量表示が10%程度あっても警告表示が点滅することがある。
  -  (バッテリーの温度に関する警告)  
 - バッテリーが高温になっている。  
 バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。
  -  (メモリーカード関連の警告)  
 遅い点滅  
 - 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、13ページをご覧ください。  
 - メモリーカードが入っていない(13ページ)。  
 速い点滅  
 - 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、あらかじめ画像をパソコンなどに保存(バックアップ)してから、メモリーカードを初期化する。  
 - 管理ファイルが壊れている。
  -  (メモリーカード初期化関連の警告) \*  
 - メモリーカードが壊れている。  
 - メモリーカードが正しく初期化されていない。
  -  (非対応メモリーカード関連の警告) \*  
 - 本機で使えないメモリーカードが入っている(13ページ)。
  -  (メモリーカード誤消去防止に関する警告) \*  
 - メモリーカードの誤消去防止スイッチがロック位置にある。  
 - 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。
- \*  その他] → [操作音] が [入] に設定されていると、警告表示が出るときに、操作音が鳴ります。

# 使用上のご注意

## ACアダプター/チャージャーについて

- 機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。
- ACアダプター/チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。
- ACアダプター/チャージャーを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

## 電源コードを付属するモデルについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

## 他機での再生について

本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

## 録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできま

せん。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- メモリーカードを誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 万一、カメラやメモリーカードなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところで使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。

- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、メモリーカードが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

## モニターについてのご注意

モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

## 有機ELパネルの表示について

一般に、ファインダーに使用されている有機ELパネルは、その特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。

これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

## 本機の温度について

ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。

## 温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。十分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

## 無線に関連する設定(Wi-Fi、NFCなど)を一時的に無効にする

飛行機などに搭乗するとき、一時的に無線に関連する機能をすべて無効にすることができます。[飛行機モード]を[入]にしてください。

## この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
- 3.その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2

- 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- DS/OF: 変調方式が DS-SS/OFDMであることを示します。
- 2: 想定される与干渉距離が20m以下であることを示します。
- : 2400MHz~2483.5MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

## ワイヤレスLANに関するご注意

- 紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国の電波関連規制等に違反する恐れがあり、弊社では一切の責任を負いかねます。

## ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLAN ではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLAN の使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

# 主な仕様

## システム

### 信号方式

- [60i] 選択時
- UHD TV方式
- デジタルハイビジョン方式
- NTSCカラー、EIA標準方式
- [50i] 選択時
- UHD TV方式
- デジタルハイビジョン方式
- PALカラー、CCIR標準方式

### 動画記録方式

- XAVC S方式 (XAVC S規格)
- 映像：MPEG-4 AVC/H.264
- 音声：Linear PCM 2ch (48 kHz/16 bit)
- AVCHD方式 (AVCHD規格 Ver.2.0準拠)
- 映像：MPEG-4 AVC/H.264
- 音声：Linear PCM 2ch (48 kHz/16 bit) / Dolby Digital 2ch
- XAVC Proxy方式 (XAVC S規格)
- 映像：MPEG-4 AVC/H.264
- 音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch

### 静止画ファイルフォーマット

- ：DCF Ver.2.0準拠
- ：Exif Ver.2.3準拠
- ：MPF Baseline準拠

### 記録メディア (動画・静止画)

- XAVC S 4K (100Mbps) (動画) : SDHCメモリーカード (UHSスピードクラス3以上) \*1
- SDXCメモリーカード (UHSスピードクラス3以上) \*1
- XAVC S HD、XAVC S 4K (60Mbps) (動画) : SDHCメモリーカード (Class10またはUHSスピードクラス1以上) \*1
- SDXCメモリーカード (Class10またはUHSスピードクラス1以上) \*1
- AVCHD、静止画 : メモリースティック PRO-HGデュオメモリースティックPROデュオ

SDカード (Class4以上またはUHSスピードクラス1以上)

\*1 4GB以上の容量が必要です。

### 撮像素子 :

- 1.0型 Exmor RS™ CMOSセンサー
- 記録画素数 : 静止画時 最大1,420万画素 (5,024x2,824) (16 : 9時)
- 総画素数 : 約2,100万画素
- 動画時有効画素数 (16 : 9) : 約1,420万画素
- 静止画時有効画素数 (16 : 9) : 約1,420万画素
- 静止画時有効画素数 (3 : 2) : 約1,200万画素

### ズームレンズ : ZEISS バリオ・ゾナーT\*

- 12倍 (光学)、24倍 (全画素超解像、HD 動画時のみ)、18倍 (全画素超解像、4K 動画時のみ)、192倍 (デジタル)
- 焦点距離 (動画) \*2: 9.3~111.6mm (35 mm換算 (16:9) \*2 29.0~348.0mm)
- 焦点距離 (静止画) : 9.3~111.6mm (35 mm換算 (16:9) 29.0~348.0mm)
- 絞り : F2.8~F4.5 自動/手動切り換え可能
- フォーカス範囲 : 自動/手動切り換え可能、10 mm~∞ (広角端)、1000 mm~∞ (望遠端)
- フィルター径 : M62 mm

\*2 [修正]手ブレ補正が[スタンダード]、または[切]のとき

色温度切り換え : Preset ( 屋内:3200K、屋外 : 5600K±7 steps、色温度 : 2300-15000K)、ワンプッシュA、B、オート切り換え可能

### 最低被写体照度 :

- [60i] 選択時 : 1.7ルクス ([LOW LUX] が[入]時、シャッタースピード1/30秒、ゲイン33dB)
- [50i] 選択時 : 1.7ルクス ([LOW LUX] が[入]時、シャッタースピード1/25秒、ゲイン33dB)

## 入/出力端子

VIDEO OUT端子 : マルチ/マイクロUSB端子一体型 (x1)、Composite 1.0 Vp-p、75 Ω

AUDIO OUT端子：マルチ/マイクロUSB端子一体型

HDMI OUT端子：Type A(x1)

USB端子：マルチ/マイクロUSB端子(x1)  
マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます

⊙(ヘッドホン)端子：ステレオミニジャック(φ3.5mm)(x1)

MIC端子(PLUG IN POWER)：ステレオミニジャック(φ3.5mm)(x1)

マルチインターフェースシュー：(x1)

REMOTE端子：ステレオミニミニジャック(φ2.5mm)(x1)

## 画面

液晶モニター：

8.8 cm(3.5型) 1 555 200ドット

ファインダー：

1.0 cm(0.39型) OLED 2 359 296ドット

## ワイヤレスLAN

対応規格：IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯：2.4 GHz帯

セキュリティ：WEP/WPA-PSK/  
WPA2-PSK

接続方式：WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

アクセス方式：インフラストラクチャーモード

NFC：NFCフォーラムType3 Tag準拠

## 電源部、その他

電源電圧：DC 7.4V(バッテリー端子入力)、  
DC 8.4 V(ACアダプター)

消費電力：

ファインダー使用時、明るさ標準で録  
画中：約4.8W

液晶モニター使用時、明るさ標準で録  
画中：約5.1W

動作温度：0 °C～ 40 °C

保存温度：-20 °C～ 55 °C

外形寸法(約)：116.0 mm×89.5 mm×  
196.5 mm(突起物含む)(幅×高さ×  
奥行き)

121.0 mm×104.0 mm×274.5 mm  
(突起物、レンズフード、大型アイカ  
ップ、バッテリー(NP-FV70A)含む。グ  
リップベルト含まず)(幅×高さ×奥  
行き)

本体質量(約)：935 g(レンズフード、大型  
アイカップを含む)

撮影時総質量(約)：1,030 g(レンズフード、  
大型アイカップ、バッテリー  
(NP-FV70A)を含む)

## ACアダプター AC-L200 D

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力：18 W

定格出力：DC 8.4 V

## リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70A

公称電圧：DC 7.3 V

本機やアクセサリーの仕様および外観  
は、改良のため予告なく変更することが  
ありますが、ご了承ください。

## 商標について

- AVCHD、およびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- XAVC Sおよびはソニー株式会社の登録商標です。
- メモリースティックおよびはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM (インフォリチウム) はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™ およびBlu-ray™ はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Facebook、「f」ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークを明記していない場合があります。

 **4K**

## ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206) より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIOLICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。

(ii) AVC Video(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMass Storage接続し、「PMHOME」→「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

ダウンロードするには、次のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。「ライセンス内容(英文)」に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

## GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供してまいります。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを**  
「故障かな?と思ったら」の項を参考に  
して故障かどうかお調べください。

**それでも具合の悪いときは**  
相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

**保証期間中の修理は**  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**  
修理によって機能が維持できる場合は、  
ご要望により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**  
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて

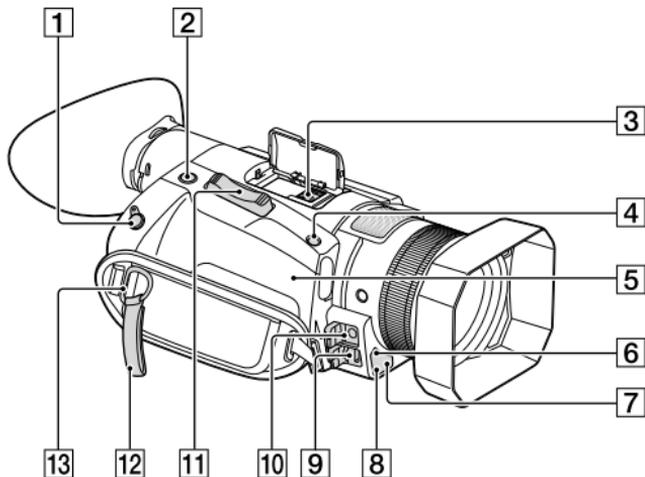
製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

## 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

# 各部のなまえ

( )内の数字は参照ページです。



## 1 REMOTE端子

REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、撮影などをコントロールできるようにした端子です。

## 2 ASSIGN4ボタン/ FOCUS MAGNIFIERボタン/ PHOTOボタン

## 3 マルチインターフェース シュー

**ni** Multi  
Interface Shoe

マルチインターフェースシュー対応アクセサリについて詳しくは専用サポートサイトでご確認ください。

他社のアクセサリを取り付けた場合の動作は保証できません。

[http://www.sony.jp/  
support/handycam/](http://www.sony.jp/support/handycam/)

シューアダプター(別売)を使用することで、アクティブインターフェースシュー対応のアクセサリも使用できます。  
故障の原因になりますので、シンクロ端子が高電圧な市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。

## 4 ASSIGN5ボタン/IRIS PUSH AUTOボタン(28)

## 5 **N**(N マーク)(45)

NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。

NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

## 6 リモコン受光部

**7** 録画ランプ

メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

**8** NIGHTSHOT (ナイトショット) ライト発光部

**9** マルチ/マイクロUSB端子/  
VIDEO OUT端子(43)

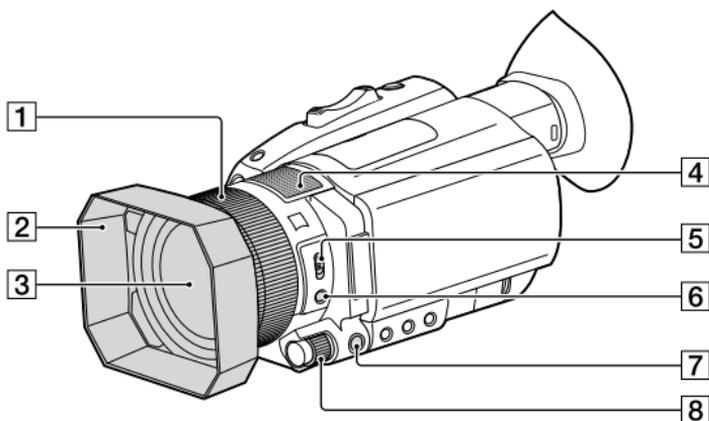
**10** MIC端子 (PLUG IN POWER)

**11** ズームレバー (18、21)

**12** ケーブルクランパー

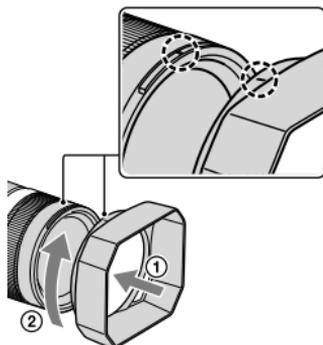
HDMIケーブル固定専用ですので、この部分にショルダーストラップなどを装着しないでください。

**13** ショルダーストラップ取り付け部

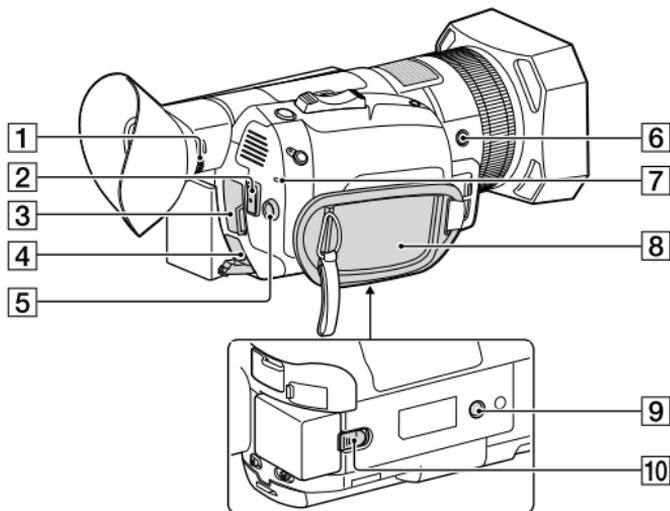


- ① マニュアルレンズリング (22)
- ② レンズフード
- ③ レンズ (ZEISSレンズ搭載)
- ④ 内蔵マイク
- ⑤ ZOOM/FOCUSスイッチ (22)
- ⑥ AF/MFボタン (22)
- ⑦ MENUボタン (48)
- ⑧ マニュアルダイヤル (23、24、25)

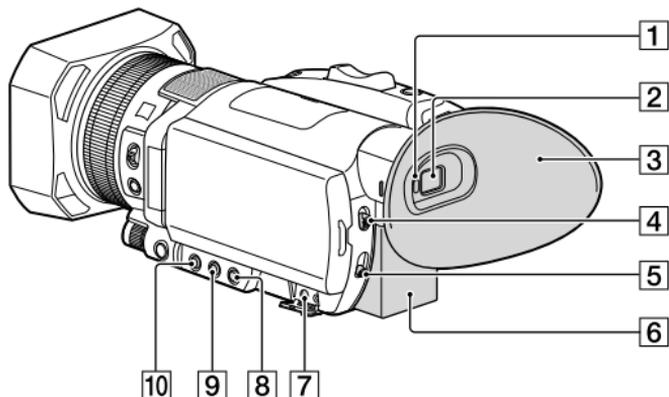
レンズフードを取り付けるには  
本体とフードの印を合わせて、矢  
印②の方向にロックされるまで  
回す。



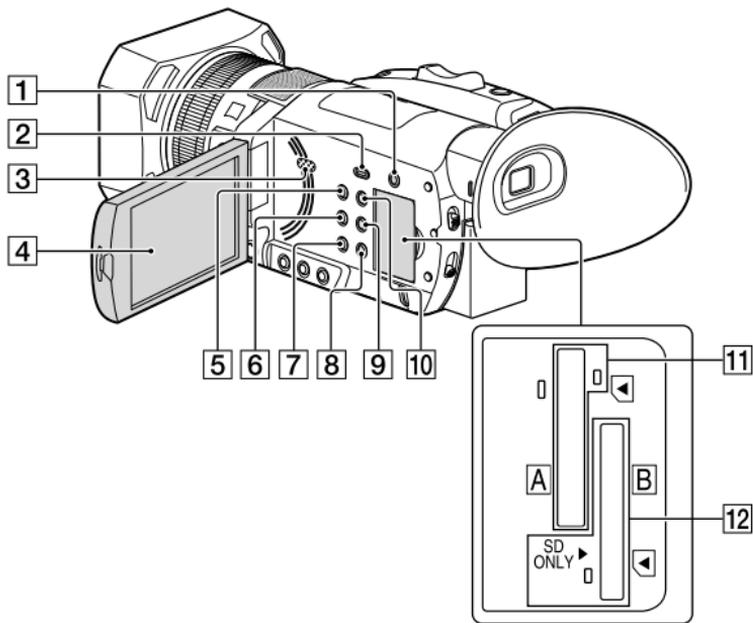
- 直径62ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズフードを取り外してください。



- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1 視度調節ダイヤル(12)                 | 8 グリップベルト   |
| 2 START/STOPボタン(18)            | 9 三脚用ネジ穴(1/4インチ)<br>1/4-20UNCのネジに対応<br>三脚(別売、ネジの長さ5.5mm以下)を取り付けます。<br>三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。 |
| 3 HDMI OUT端子(35)               | 10 BATT(バッテリー)取り外し<br>レバー(9)  |
| 4 DC IN端子(8)                   |   |
| 5 ▲/▼/◀/▶/SETボタン<br>(48)       |   |
| 6 ASSIGN6ボタン(28)               |   |
| 7 POWER(電源) /CHG(充電)<br>ランプ(8) |   |



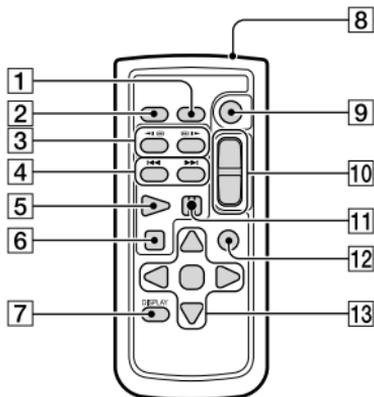
- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 1 アイセンサー                         | 6 バッテリー (8)                              |
| 2 ビューファインダー                      | 7 $\odot$ (ヘッドホン) 端子                     |
| 3 大型アイカップ (12)                   | 8 SHUTTER SPEED (シャッター<br>スピード) ボタン (25) |
| 4 AUTO/MANUALスイッチ (23、<br>24、25) | 9 ISO/GAIN (ゲイン) ボタン<br>(24)             |
| 5 ND FILTERスイッチ (27)             | 10 IRIS (アイリス) ボタン<br>(23)               |



- 1 SLOT SELECTボタン (15)
- 2 THUMBNAIL  (画像再生) ボタン (30)
- 3 スピーカー
- 4 液晶モニター/タッチパネル
- 5  (電源) ボタン (11)
- 6 WHITE BALANCE (ホワイトバランス) ボタン
- 7 ASSIGN1ボタン/S&Qボタン (28)
- 8 ASSIGN2ボタン/STATUS CHECKボタン (28)
- 9 ASSIGN3ボタン/PICTURE PROFILEボタン (28)
- 10 DISPLAYボタン (30)
- 11 メモリーカードスロットA/メモリーカードアクセスランプ (13)
- 12 メモリーカードスロットB/メモリーカードアクセスランプ (13)

## ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



- 1 DATA CODEボタン
- 2 PHOTO(フォト)ボタン
- 3 SCAN/SLOWボタン
- 4 ◀▶▶▶▶(PREV/NEXT)ボタン
- 5 PLAYボタン
- 6 STOPボタン
- 7 DISPLAYボタン
- 8 リモコン発光部
- 9 START/STOPボタン
- 10 ズームレバー
- 11 PAUSEボタン

12 VISUAL INDEXボタン

13 ▲/▼/◀/▶/ENTERボタン

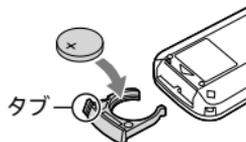
### ご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができませんことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

その他

### リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」と音がするまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

# 安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

## 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

## 内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

## 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

## 撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

## 指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

## 機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

## 電池やグリップベルトを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

## ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

### 長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止

### ワイヤレス機能ご使用上の注意

**病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

**航空機内ではワイヤレス機能を使用しない**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

**本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

その他



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

### 水滴のかかる場所など湿気が多い場所やほこり、油煙、湯気が多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

### ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

### コード類は正しく配置する

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

### 通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

### 使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

### 長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

### レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

### 電池や付属品、メモリーカード、アクセサリなどを取り外すときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

### ブラケット(VCT-55LH)等を介し、他のアクセサリも取り付けられた状態で使用する場合、手持ち撮影をしない

落下等により、不慮の事故の原因となりますので、カメラを三脚に取り付けて使用してください。



禁止

**⚠ 危険** 電池についての  
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大げがや  
やけど、火災などを避けるため、下記の注意  
事項をよくお読みください。

**⚠ 危険**

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外  
で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブ  
ンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置し  
ない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管  
しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡  
らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

**⚠ 警告**

- 電池を飲み込まないでください。化学やけどの原因となりま  
す。  
リモコンには、コイン/ボタン電池が内蔵されています。  
コイン/ボタン電池を飲み込むと、2時間程度で重度の内臓の  
やけどを引き起こし、死亡に至ることがあります。  
新しい電池や使用済みの電池は子供の手の届かないところ  
に保管してください。  
電池ケースがしっかりと閉じない場合は、使用をやめ、子供の  
手の届かないところに保管してください。  
電池を飲み込んだり体のどこかに入れたりしたと思われる場  
合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり  
するなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。



禁止

**⚠ 注意**

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から  
取り外しておく。



指示



**Li-ion**

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電  
池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店  
へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については  
一般社団法人JBRCホームページ  
<http://www.jbrc.com/> を参照してください。

その他

# 索引

## ア行

アイリス	23
アフターサービス	72
インストール	44
映像の取り込み	38
液晶モニター	78
お問い合わせ先	88
主な仕様	68

## カ行

ゲイン	24
故障かな?と思ったら	56
コンセントの電源で使う	9

## サ行

再生	30
削除	33
撮影可能時間	20
撮影/再生可能時間	9
三脚	76
自己診断・警告表示	63
絞り	23
シャッタースピード	25
充電	8
充電時間	9
修理	72
使用上のご注意	65
ズーム	18
スマートフォン	44
静止画	21
操作音	11
ソフトウェア	38, 44

## タ行

ダイレクトメニュー	26
JP タッチパネル	78

ディスクの作成	39
テレビ	35
電源	11
動画	18
同時記録	20
撮る	18

## ナ行

日時合わせ	11
-------	----

## ハ行

パソコン	38
パソコン環境	38
バッテリー	8
ファインダー	12
フォーカス	22
フォーマット	16
付属品	7
ブルーレイディスク	42
プレビュー	33
ヘルプガイド	3
保証書	72

## マ行

マニュアルで撮る	22
マニュアルレンズリング	22
満充電	9
見る	30
メニュー	48
メモリーカード	13, 16, 30
メモリーカードスロット	15
メモリースティックPRO-HGデュオ	14
メモリースティック PROデュオ	14
メモリースティック PROデュオ (Mark2)	14

## ラ行

リレー記録 .....	19
レンズフード .....	75

## ワ行

ワイヤレスリモコン .....	79
-----------------	----

## アルファベット

ACアダプター .....	8
AF/MFボタン .....	22
AGC .....	24
Android .....	44
App Store .....	44
ASSIGNボタン .....	28
AUTO/MANUALスイッチ .....	23, 24, 25
AVCHD .....	4
DISPLAYボタン .....	30
Google Play .....	44
HDMIケーブル .....	35
iOS .....	44
IRIS .....	23
IRISボタン .....	23
ISO/GAINボタン .....	24
MENU .....	48
MENUボタン .....	48, 75
NDフィルター .....	27
NDフィルタースイッチ .....	27
NFC .....	45
NFCワンタッチ .....	44
PlayMemories Home .....	38
PlayMemories Mobile .....	44
PlayMemories Online .....	38
SDカード .....	14
SHUTTER SPEEDボタン .....	25
SLOT SELECTボタン .....	15, 78
THUMBNAIL (画像再生) ボタン .....	30
USBケーブル .....	42
Wi-Fi .....	44
Windows .....	38

XAVC S 4K .....	4
XAVC S HD .....	4
ZOOM/FOCUSスイッチ .....	22

## 詳しい情報はヘルプガイド (HTML) へ (3ページ)

フォーカスエリア  
ロックオンAF  
AF駆動速度  
AF被写体追従設定  
S&Q MOTION  
SUPER SLOW MOTION  
スマートフォン操作  
ピクチャープロファイル (HDR対応)  
XAVC S プロキシ記録  
自己診断・警告  
静止画の撮影可能枚数  
メニューの詳しい説明





ハンディカムの最新サポート情報  
(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能な  
メモリーカードなど)

<http://www.sony.jp/support/handycam/>



ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

ハンディカムホームページ

<http://www.sony.jp/handycam/>

ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する  
情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

#### 使い方相談窓口

フリーダイヤル

………… **0120-333-020**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

………… **050-3754-9577**

#### 修理相談窓口

フリーダイヤル

………… **0120-222-330**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

………… **050-3754-9599**

※ 取扱説明書等の購入相談はこちら  
へお問い合わせください。



FAX (共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に  
「400」+「#」(本機や付属品)  
「404」+「#」(ソフトウェア「PlayMemories Home」)  
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp>

